

海はゴミ箱じゃない！

眞淳

著

川西市立多田小学校四年 村正し 晴と

この本を読んださつかけは、今年家族で奄美大島に行つた時、海のし料館で島に流れ着いた色々な漂着ごみがこんな示されていて、おどろいたふらです。中国語が書いてあるライター や名し、なんと木せいのぶつぞうもありました。きけん友 薬品のかトルや海で使う、

フロートなどもありました。奄美は海などでもきれいいで色々な魚がいたのにごみが多いのはいい流れ着いていると知りひっくりしました。そして、海のごみについても、と知りた、と思ふ図書館でこの本をかりてみました。

この本には、日本各地の海岸のごみや生き物のひかいについてたくさん書かれています。特に印し<sup>x</sup>うにのこつたのは奄美にも近い南西諸島の海岸のことです。石かき島では、ペットボトルのごみが多くてキヤツ<sup>ア</sup>フを、

ヤドにしているヤドカリがいたり、西表島ではマンタロードの森の奥に発泡スチロールのごみがあたり、フロートが乗り上げられていたりしていまして。座間味島ではアカウガメがたまごを産もうとしたところ、海岸のごみかいばいで、たまごをかかえたまで死んでしまったことを書いてありました。また、プラスチックセイの六ハーフホルダーで魚が体をうちぎられたり、鳥の首にからまり、プラスチックセイの輪がのよな物たり、

この本を読んで海でもアラスチックのごみ

かいがに多いかを知らされました。最近、エ

ュースでスター・ハックスコーヒーがアラスチ

ックのストローをやめると、ていたり、ア

ラスチックのごみをへらそうとしています。

ぼくは、自分でできることを考てみて、ま

ずはアラスチックのホリバカラをもらわない

ようになたり、マイハックを持って買いう物を

したり、きちんとごみを分別して捨てたりし

て、すぐに行くことができるところからやつていきたいと

思います。そしてずっと海や海岸がきれいな

ままであってほしいです。